

科目名	選挙とメディア Media and Elections in Japan
担当者	与良正男
配当学期	秋学期
単位	2単位
授業概要	今年も衆院解散・総選挙があるかもしれない。そんな予断を許さない政治状況が続いています。4月には東京都知事選をはじめ統一地方選が行われます。一昨年の衆院選では民主党への政権交代を選択し、昨年の参院選では一転して民主党を敗北させた民意はどう動くのか。いずれにしても政治の方向を決定するのは有権者＝主権者です。それを伝える選挙報道はどのようにしてなされるのか、そしてどのようにあるべきなのか。新聞とテレビ双方に関わっている立場から、日々動く政治をリアルタイムで解説しつつ今後の政治のあり方をみなさんと考えていきたいと思えます。それは前期に続き、「政治とは何か」、「民主主義とは何か」を考えることでもあります。
授業の到達目標	メディア報道の実情を知ることにより、日本の選挙のあり方そのものについて自分なりの視点を持ちたい。
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> (1) 一昨年の衆院選を総括する——その1 (2) 一昨年の衆院選を総括する——その2 (3) 昨年の参院選を総括する (4) 新聞とテレビの選挙報道 (5) 政党のメディア戦略 (6) マニフェスト報道のあり方 (7) 世論調査と出口調査の功罪 (8) 選挙報道における中立性とは (9) 衆院選と参院選 (10) 各党の候補者選び～政治家の質という問題 (11) 公選法のさまざまな問題 (12) 欧米各国の選挙と報道 (13) 低い投票率をどうするか (14) 選挙制度のあり方について (15) 政治報道、選挙報道の未来
教科書	なし
参考文献	「与良政談」（毎日新聞社刊）＝副題は「私は何ゆえ『もっと気軽に政権交代を！』と言いつけるのか」

成績評価方法	評価基準	
	試験 %	
	レポート 60%	レポートの課題は未定。いずれにしても長く選挙報道に携わってきた私が「なるほど」となるような独自性を期待します
	平常点評価 40%	メディア報道に対し、質問や疑問をどんだんぶつけてくれる人を歓迎します
	その他	
関連 URL	http://mainichi.jp/select/opinion/yora/ 私が毎週、毎日新聞に書いているコラムがアップされています	
備考		